

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2018

1

平成30年1月1日

No.650



Contents (主な内容)

町長・議長年頭あいさつ……………P 2～3

地域おこし協力隊体験記……………P 4

青少年の主張大会最優秀賞作品 ……P 6～8

わら細工って楽しいね

笹原小学校4・5・6年生を対象にした「わら・竹・木工細工教室」が、11月30日(木)に地域の方々のご協力のもと同校で行われました。児童たちは昔ながらの技術に驚きながらも、楽しそうに自分だけの作品を作っていました。

もう一度初心に立ち返り
町民の皆さまと情報を
共有しながら全力で取り組む

埴町議会議長
大縄 武夫
Onawa Takeo



新年おめでとうございます。
平成30年の希望に満ちた新春を迎え、埴町議会を代表し、町民の皆さまのご健勝を心からお慶び申し上げます。町民の皆さまには、平素から格別のご支援ご協力を賜り感謝を申し上げます。

本町議会では、町民の皆さまの声を受け、議員定数・報酬などの見直しに向け議員定数等検討協議会を設置し、本年中には結論を出すべく協議をしているところです。今後は、町民の皆さまのご意見も参考としたため、アンケートを実施してまいりますので、ご協力をお願いしたいと思っております。議員定数問題の

「真因」は何かを問い続け、未成熟な議論の多数決によることなく、熟成された公論により、その方向を決めたいと考えているところです。

さて、昨年埴町では、定住促進を図るための「定住促進住宅」2世帯分の完成、埴中学校統合50周年、また、少子化対策に向けて「はなわ子ども園（仮称）」の基本設計や「子育て若者住宅促進住宅団地」の計画などの事業が進められております。また、一方では、常豊小学校が児童の減少により本年3月をもって140年の歴史に幕を閉じることもあり、大変残念な思いであります。

議会でも、磐梯町の子育て施策の状況を視察研修してまいりました。人口3600人で14歳以下の比率が13%と高い町であります。幼稚園からの英語教育、幼稚園終了後の預かり保育無料化、第一子誕生からの補助金などの子育て支援が大変充実しており、磐梯町長は「町として教育・医療・住宅を充実させることで子どもは増える」と述べ、これからの当町での子育て支援施策にも大いに参考になる研修となりました。今後も、

町民の皆さまが
安心して暮らせる
町づくりを進めてまいります

埴町長
宮田 秀利
Miyata Hidetoshi



平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年中は、町政全般にわたり温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成29年を振り返りますと「産み育てたい町づくり」「活力にあふれる町づくり」「町民みんなが主役の町づくり」「家庭と地域に安全の町」を主な施策として、町づくりを進めてまいりました。

地域の子育て支援および乳幼児の健全育成、延長保育、育児相談など子育て世帯の要望に応える拠点施設

として、幼保一体型の「はなわこども園（仮称）」の基本設計が完了し、その内容について公表を行いました。併せて、当面の待機児童解消のため、埴保育園の保育室増築を実施し、児童の受け入れを増やし、待機児童の解消を図りました。

また、埴町へのU・Iターン者への対応や人口流出抑制と定住促進を図るための「賃貸住宅」を、大字台宿字北原地区内に整備し、入居者の募集を開始しました。さらに、給食費の一部を負担することで、子育て世帯の生活応援を図りました。

今年、先に公表しました「はなわこども園（仮称）」へ、町民の皆さま

まから頂戴したご意見などをもとに、その整備実現に向けた実施計画を進めてまいります。

また、若者が町に定住しやすい環境を整備するために「子育て若者定住促進住宅団地」を埴字末広町に整備してまいります。高齢者対策としては、敬老会の実施や介護予防の推進などを図ってまいります。さらに、町全体の約80%を占める森林整備のため「ふくしま森林再生事業」など、各補助事業を効果的に活用し、森林整備を進めてまいります。

このほか、風評被害払拭のための米全袋検査事業や農産物の安全・安心の取り組み、農地保護対策として野生イノシシ駆除対策事業などを行うなど、職員共々一丸となって町民の皆さまが安心して暮らせる町づくりを進めてまいります。

結びに、町民皆さまにとりまして、本年が健康で幸多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

引き続き町と議会が一体となり子育て支援を進めていかなければなりません。

私たち議員が、町民の皆さまの信任を受け、町政発展に取り組み始めてから2年が経過しようとしています。全議員が、もう一度初心に立ち返り、議会としての果たす役割、責任を十分認識し、活力あふれた魅力ある町づくりを目指し、町民の皆さまと情報を共有しながら全力で取り組んでまいりたいと考えております。町民の皆さまのご指導ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さま方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

2018
戌年の決意



東京都葛飾区亀有で開催される「餅つきイベント」。毎年、多くの方が訪れ、塙町のPRにつながっている



初のインタビューに挑戦 その思いに共感

こんにちは！協力隊の川村です。早いもので、協力隊になり2度目の年越しを迎えます。たくさんの方々にお世話になり、こうしてまた新年を迎えることができ、感謝、この場をお借りして、感謝申し上げます。2018年も、どうぞよろしくお祈りします！

私たち協力隊は、基本的に町のほ場で活動していますが、町のPRにつながる町外での活動に参加させていただくときがあります。12月3日(日)に、葛飾区亀有で毎年恒例の餅つき&物産販売に同行しました。町からもち米や臼、杵を運び、アーケード内で餅つきを実演し、できたてのお餅をお配りするイベントで、町が亀有銀座商店街振興組合と協力して行い、

今や商店街の歳末イベントの目玉の一つとなっているそうです。今回、餅つきの「こねどり」をおひとりで担当されたのは、東河内にお住まいの大友孝子さん。大友さんは、東京の新小岩にある塙町のアンテナショップ「ダリちゃんショップ」のお仕事に、開店当初から携わるベテランです。毎年、葛飾の餅つきの補助にも参加されている大友さんに、お話を伺いました。



地域おこし協力隊通信

川村 空也さん (かわむら・ひろなり)
昭和61年7月生まれ。宮城県仙台市出身。趣味は、サイクリング、マラソン、読書。着任してから、ダリア漬けの日々を送っている。現在2期目。

餅つきイベントの醍醐味は「餅つき特有の掛け声や、豪快で息の合ったつき方などが作り出す活気ある雰囲気。今年の亀有では、お客さんは迫力に押されたのか、静かな空気がなくなってしまったのが少し残念でした」とのことでしたが「おいしい！という声や子どもたちが楽しそうにもちつき体験をしてくれたのが嬉しかった」と話されていました。

ダリちゃんショップでは、震災後の風評被害の払拭が大変だったそうです。「福島産というだけで農産物が敬遠されてしまう時期が続いた。全品検査をして、安全なもの販売していることを根気よく伝えてきた結果、少しずつお客

さんが戻り、今では味や新鮮さ、安全さで繰り返し選んでもらえる。何より嬉しいのは、やっぱりお店の品物が売り切れるくらいよく売れること！。さらに、自分で作るお米も「魚沼産よりおいしい！」と大評判。開店前から大友さんに会いに並んでくれるお客さんもいらっしゃるそうです。こうした町の取り組みや町民の方の努力が、塙町の魅力をもっと人に伝え、心と豊かさを届けているのだと思います。「これからも、農家さんにはいい野菜を作ってもらって、みんなで塙町を盛り上げていきたい」と語る大友さん。協力隊もダリア栽培を通して、このお手伝いができるようでありたいと感じました。



大友孝子さん (東河内)

塙町のアンテナショップ「ダリちゃんショップ(東京都新小岩)」や餅つき・物産販売に携わるベテラン。お客さんの「おいしい」という声や、子どもたちの楽しそうな姿、何よりお店の品がよく売れることがとても嬉しいと語る大友さん。

さまざまな方の努力が、塙の魅力をもっと多くの人に届けている。自分もダリアを通じて、そのお手伝いがしたい。

水道管の凍結にご注意ください

■水道管は寒さが苦手です



水抜き栓のふたを開け、バルブを「水抜」の方向へ、止まるまで回します。その後、住宅内の蛇口を全開にして、水を抜きます。蛇口から水が出ないことを確認し、蛇口を閉めてください。

気温が下がると、水道管や蛇口が凍りやすくなり、水道管などが破損することがあります。水道管が凍ってしまうと、水が出なくなったり、破裂してしまったりすることがあります。北向きや、屋外でむき出しになっている場所には注意が必要です。保温材や、温熱ヒーターを取り付けて、水道管を凍結から守りましょう。

また、外出などで長期間水道を使用しないときは、水抜き栓を使用してください。もし、水道管が破裂した場合は、町指定給水設置工事業者へ連絡し、速やかに修理をお願いします。

■問い合わせ

生活環境課

上下水道係・施設係
☎(43) 2148

日本の未来をつくる「統計調査」Vol.3

「統計」を「集めて分析して活かす」

統計とは、「集団」の「傾向・性質」を「数量的」に明らかにすることです。日本では、国勢調査など、官公庁や民間企業により、さまざまな統計調査が行われています。2017年版の統計年鑑には、30分野、537におよぶ統計データが収録されています。統計調査には、大きく分けて三つの役割があります。

一つは、国民自身が自分の国の状態を正しく知るための役割です。国の統計を見れば、人々の暮らしが豊かになっているのかどうか、生活に困っている人がどれくらいいるのかなど、国民の暮らしの実態や経済社会全体の動きが分かります。国民が自分の暮らしを工夫したり、政治に参加したりする場合には、このような統計や情報が役に立ちます。

二つ目は、国や地方の行政の運営を公平・公正に行うための役割です。公共施設の整備、公共サービスの提供、補助金の給付などを行う際に、どこに建設するか、誰にどのようなサービ

スや補助金を提供するかなど、多くの人が納得できる客観的な基準として、統計データが利用されています。三つ目は、国際社会の中で日本の置かれた状況を正しく理解するための役割です。日本は、外交、貿易、人的交流などさまざまな形で国際社会と密接なつながりを持っています。日本人が今後も豊かな暮らしを続けていくためには「世界の中の日本」がどのような状態にあるのかを理解しておくことが必要です。

地域おこし協力隊 有村明希子さん 2期目の活動がスタート



地域おこし協力隊への委嘱状交付式が、12月1日(金)に役場応接室で行われ、宮田秀利町長から有村明希子(ありむら・あきこ)さんに2期目の委嘱状が交付されました。有村さんは、平成28年12月1日に、塙町地域おこし協力隊に着任して以来、ダリアを活用したさまざまな活動をしており「あつという間の1年で、農業の大変さを実感しましたが、毎日がとても充実しています。今後は、反省を生かしながら、さらに頑張りたい」と、抱負を述べました。任期は、平成30年11月30日までとなります。



中学生の部 最優秀賞

「あいさつは人と人をつなぐ」

中学校1年 遠藤 毅人さん

平成29年11月11日(土)に開催された「第33回埴町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)

平和な社会とは、どんな社会ですか。僕は、犯罪や事件などがない社会のことだと思いません。テレビや新聞では、たびたび暗いニュースを目にします。どうしてこんなにたくさん悲しい出来事が起きてしまうのでしょうか。犯罪や事件は、起こしてしまう本人が一番悪いと思います。しかし、起きてしまう前に、防ぐ方法があるのではないのでしょうか。

自分から積極的にあいさつをし、コミュニケーションをとる。あいさつは人と人をつなぐ始めの一步。

僕は、小さい頃から人に会ったら必ずあいさつをするよう言われてきました。小学校でも中学校でもあいさつ運動をしています。中学生になると知らない人にあいさつをするのが恥ずかしくなりました。しかし、埴町の人は、知っている人も知らない人も常に声をかけてくれます。地域の人が、みんな笑顔なので「おはようございます」と、気持ち良くあいさつをすることが出来ます。毎日あいさつをすることで、知らなかった人とも会話が増えます。何日か顔を合わせなかったりすると「久しぶりだね」と言われたり、早く帰ると、「おかえり、今日は早いね」と声をかけてくれます。

僕は、小学生のとき、お店の駐車場でふざけていて注意されたことがあります。このように、地域の人が悪いことは悪い、と叱ってくれる環境が大切です。僕は、家族以外にも自分のことを気にかけてくれ

る人がいるということは、ありがたいことだと思います。そして、いつも見守られているということに安心します。だから、いつも声をかけてくれる人を何日も見ないと心配になります。そんなときに、祖父に聞いてみると「あの人は、今入院してみたいだ」とか「旅行に行っているんだ」と教えてくれます。僕は、どうして知っているか聞いたことがあります。すると、祖父は「仲の良い人の中には一人暮らしの人が多く、連絡をとってあげてほしいからだよ」と言っていました。一人暮らしになると、外出することが少なくなってしまうそうです。だから祖父は、よく友達をグラウンドゴルフや旅行に誘って出かけていきます。僕は、コミュニケーションをとることで、何かあったときに安心できると思います。祖父は、散歩をしているときにもよく声をかけてくれます。会話をすることで、その人が元気かどうか気付けるからだと思います。僕は、それを聞いてから、学校でも自分からあいさつをするようにしています。そのときは、必ず相手の顔を見るようにしています。僕は、朝のあいさつは

一日を気持ち良く始めるためのものだと思います。そして、友達の間で顔を見ることが、調子が悪いかどうか気付けてあげることが出来ると思います。未成年の犯罪を防ぐには、一人一人が自分の行動に責任を持つよう意識することが大事です。また、周りの人が社会のルールを教え、悪いことは悪いと叱れる環境が大切だと思います。毎年2万人以上の人が、自ら命を絶ってしまうということを聞いたことがあります。このことも、周りの人が他の人に目を向けることで防ぐことが出来ると思います。自分一人では無いと思えることが大事だと思います。高齢者の孤独死についても、同じことが言えると思います。

平成29年11月11日(土)に開催された「第33回埴町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)



小学生の部 最優秀賞

「いただきます」

小学校6年 加藤 まのさん

「お米は一粒残さず食べなさい！」私は、食事のたびに母からこう言われ続けてきました。私は「一粒も残さず取って食べるなんて面倒くさい。一粒くらい残したっていいじゃん」。そんな思いで母の言葉に反抗してました。しかし、そんな私の思いを大きく変えるきっかけがありました。

生きていくために、他の生き物の尊い命をもらっている。ありがたい気持ちを込めて「いただきます」

去年、社会科で米作りについて学習し、地域の皆さんのおかげで、田植えを体験することもできました。裸足で田んぼに入り、みんなではしゃぎながら植えたこと、真っ直ぐ植えたつもりでふり返ってみたら、ぐにゃぐにゃに曲がっていて、真っ直ぐとはほど遠い結果だったこと。今でも楽しい思い出です。秋には稲刈りと脱穀も体験しました。育った稲を、一束一束鎌

を使って刈っていました。同じように、わくわくしながら作業したことをよく覚えています。初めは面白くて、鎌でどんどん刈ると、はりきりしましたが、たった10分しか経っていないのに、手と足がしびれて力が入らなくなりました。疲れてふり返ると、ほんの一部分だけしか刈り取っていません。私たちが使っているお米は、ほんの少しの作業しかしていないのに、この作業を田んぼ一面全部行うのかと思うと信じられませんでした。

私には、米作りにはたくさんのお米を育てるのに、手と足がしびれて力が入らなくなり、ほんの一部分だけしか刈り取っていません。私たちが使っているお米は、ほんの少しの作業しかしていないのに、この作業を田んぼ一面全部行うのかと思うと信じられませんでした。

平成29年11月11日(土)に開催された「第33回埴町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)



高校生の部 最優秀賞
「みんなのために」
学校法人石川高等学校3年 鈴木 なつみさん

私は、中学校を卒業し、学校法人石川高等学校へ進学しました。高校では、留学を考えていて、留学推薦で高校に入学しました。学法石川は、とてもスポーツが盛んなので、留学するだけでなく、私もスポーツで活躍してみたいと思い、兄も取り組んでいた自転車競技部に入部することにしました。学法石川の自転車競技部は、毎年インターハイや国体など各種大会で入賞を果たしている伝統のある部です。去年のリオデジャネイロオリンピックに出場したOBもいます。また、競輪選手として活躍しているOBもたくさんいます。それだけに、高校での練習は想像をはるかに超え、とても激しいものでした。まず、私が苦労したことは練習相手が男子しかないことです。女性と男性では、筋肉量や体力が違い、

看護師として保健、医療、福祉の分野で活躍したい。高校で学んだことが必ず役に立つと思っている。

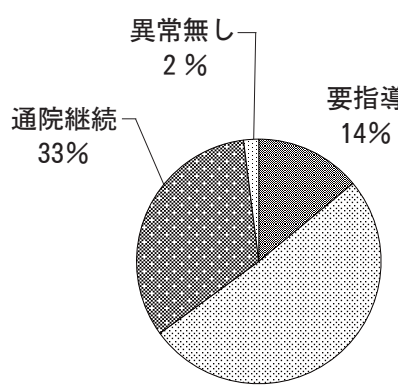
は完全に我慢。毎朝起きたら脈と体温を計り、いつもと違っていたら、それに適した食べ物を食べる。その生活を3年間続けてきました。そのおかげで、練習を休むことがなくなりました。これは、受験生として大変な毎日を送る現在も大変役に立っています。自転車部の主な練習は、ロードと言って、車が走る道路を3、4人のチームになって走ります。1人では練習になりません。だから、必死に男子にくらいつきました。それでも1、2年生の時は、全国大会のインターハイに出られませんでした。その悔しさから、3年生の時には、今まで以上に力を尽くして頑張りました。あまりの辛さから、逃げ出しそうになったり、泣いてしまったこともたくさんありました。しかし、その辛さに耐えた甲斐があっ

て、その後の県大会では大会新で優勝、東北大会では2位でした。そして、自分の目標としていたインターハイでは、8位という結果でした。自分が望む優勝という目標は達成できませんでしたが、それまで一日一日全力でやってきたので、後悔はありませんでした。今まで支えてくれた友達、家族には感謝の言葉しかありません。また、私が高校に自転車を通う際、毎日のように応援してくださいました町の人にも感謝しています。

私は今、新たに立てた目標があります。それは、看護師になることです。中学生の頃、東南アジアの貧困問題に関心を持ち、それについて調べました。その時、自分がどれだけ恵まれているかを知るとともに、この子たちにどんな支援ができるか考えました。彼らには、学ぶための学校がなく、医療も少ない。彼らのために医療支援がしたいと思い、看護師になると決意しました。また今は、現代の社会問題である少子高齢化に対応できるような看護師になりたいとも思っています。病院に来ることが困難な高齢者や病気を抱えている人にも自宅で暮らしたいという人のために、訪問看護という

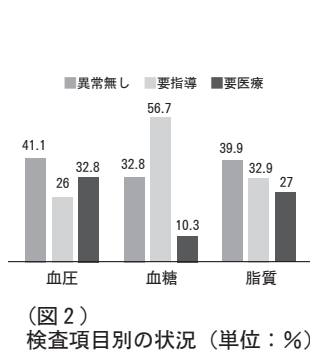
ことが実践できればと考えています。地方の町が、暮らしやすい町になるように町づくりに貢献していきたいです。
看護師は、ハードな仕事だと思います。だから、自分が健康でなければ患者さんを元気にすることができません。体調管理には気を付け、技術や知識を学び深めて、自信をつけることで心身に強くなることが大切だと思います。そして、それには私が高校で身に付けたことが必ず役に立つと思っています。

(図2)は、動脈硬化が進行すると、値が高くなる3大項目です。1つの項目だけで見ると、治療が必要な方が少ないように見えますが、2つ以上の要医療項目があると、脳梗塞や心筋梗塞などの血管の病気にかなりやすくなりますので、早めの受診をお勧めします。また、その予備軍(要指導)



(図1) 総合判定別の状況 (単位: %)

昨年9月と11月に特定健康診査(40歳以上国保)・健康診査(75歳以上)・各種がん検診を受診し、その結果が「要医療(治療) または要精検(精密検査)が必要」と通知された方は、必ず医療機関を受診しましょう。
■受診者の半数は「要医療」
(図1)は、平成29年9月に実施した特定健康診査の結果です。「異常なし」と判定されたのは、受診者全体の2%という結果でした。さらに、受診者の半数の方が、治療が必要な状態です。



(図2) 検査項目別の状況 (単位: %)

の方も、生活習慣の改善が必要です。

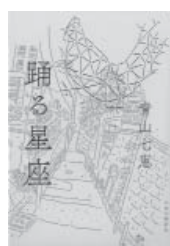
■放置は危険です 不安解決のお手伝いをします

「このくらいで受診するのは面倒だな」「痛くないから大丈夫」と、思っているあなた。結果を放置し、何年も要精検と通知されていませんか。自覚症状がないからといって安心するのは危険です。また、「どんな検査をするの」と、不安を抱えているあなた。町保健師が電話や訪問などで説明をさせていただきますので、ぜひご相談ください。

医療機関を受診する際は、保険証、健康(検)診結果、健診結果に同封した『医療機関外来担当御机下』を忘れずに持参してください。継続して通院されている方も持参してください。もっと健康で、ずっと健康な体を手に入れるために、忘れずに受診しましょう。

■問い合わせ
健康福祉課 健康推進係
☎(43)2115

新刊案内



「踊る星座」

青山 七恵 / 著
(中央公論社)

ダンス用品の会社に勤務する主人公が、彼女を取り巻く個性豊かな人々に翻弄される長い一日の出来事を、ユーモアたっぷりに描いた作品。

【図書館の開館・休館情報(1月)】

- 開館時間 火曜日から土曜日...午前10時から午後7時まで
日曜日・祝日...午前10時から午後5時まで
- 休館日 9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、31日(火)
※1月1日(月)から1月4日(木)は年始のため、1月31日(水)は、月末整理日のため休館とさせていただきます。



「おしょうがつさん どんどこどん」

長野 ヒデ子 / 作・絵
(世界文化社)

●ものがたり

年末の大掃除、鏡もち、年越しそば、お正月のおせち料理。そのひとつひとつに大切な意味があることを、おばあちゃんが楽しいリズムに乗せて教えてくれる楽しい絵本です。親子でどうぞ。

図書館情報

1月のテーマ

お正月・犬の本

図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月も、その中から一冊の本を紹介いたします。なお、読みたい本が貸し出し中の場合、予約もできます。(☎43-0808)

償却資産の申告は 1月31日までです。

固定資産税は、土地や家屋のほか、償却資産にも課税されます。町内に償却資産を所有されている方は、平成30年1月1日現在の状況を申告してください。



償却資産とは

事業を営んでいる会社や個人が、その事業のために所有している土地や家屋以外の事業用資産（機械、器具、構築物など）のことです。

【車両および運搬具】

大型特殊自動車、自転車、荷車など

【工具器具および備品】

机、イス、ロッカー、金庫、応接セット、陳列ケース、キャビネット、レジスター、複写機、厨房用品、看板など

償却資産の一例

【構築物】

舗装路面、広告塔、プレハブ式事務所、ビニールハウス、豚舎、鶏舎、牛舎など

【機械および装置】

電気・化学・建設・印刷機械、加工修理などに使用する機械など

申告は義務付けられています

償却資産は、地方税法383条によりその所有者に対して申告が義務付けられています。免税点（※）であっても申告は義務付けられています。

※免税点とは

申告により課税標準額が150万円未満の場合は、償却資産に対する課税はありません。

申告の方法は

1月1日時点で町内に所在・所有している償却資産（自己所有および他者へ貸し付けしているものも含む）の内容を、「償却資産申告書」一種

類別明細書（増加・減少）など所定の様式に記載して提出してください。なお、増減の無い場合や廃業・解散の場合でも、その旨を申告書に記載し、提出してください。

申告に必要な書類は、12月下旬に郵送しています。申告が必要な方で必要書類が届かない場合は、ご連絡ください。所定の様式は、埴町のホームページでもダウンロードすることができますので、必要な方は、ぜひご利用ください。

■申告期限

1月31日（水）

※申告期限間近になると混雑しますので、1月19日（金）までの申告にご協力ください。

■提出先・問い合わせ

町民課 課税係
☎（43）21133

申告は忘れずに



定期監査の指摘事項に措置を講じました

平成28年度の定期監査で、指摘された監査事項について、埴町および埴町教育委員会は以下のとおり措置を講じましたので、地方自治法第199条第12項の規定により公表いたします。

■問い合わせ

監査委員 ☎43-2150



最小限の経費で最大限の効果を（今年度の現場監査）

◆改善を要する事項

①【生活環境課】下水道受益者分担金、下水道使用料、農業集落排水使用料、水道料で時効と思われるものや、徴収困難と見受けられるものが散見

対象者の訪問や交渉記録などから債権の状況を整理し、下水道使用料と農業集落排水使用料については、時効により消滅したものを不能欠損した。今年度は、収納に向けた対応を協議し、徴収困難な債権の整理をしている。

②【生活環境課ほか】公私債権の混同により税外収入延滞金の事務取り扱いが不徹底

町全体での情報共有を図り、再発防止を図っている（債権放棄などの起案について合議）。なお、住宅使用料については、低所得者および住宅困窮者対策という目的に鑑み、住宅使用料は延滞金の徴収はしない方針。

③【総務課ほか】固定資産（財産、備品など）の現物確認が未了

財産台帳作成時に整理している。また、備品確認を継続的に行う。

④【まち整備課】所有権移転等未登記町所有財産の整理事務遅滞

臨時的に人員を増員し、その整備に当たっている。また、相続困難地については、相続人代表者の了解のもと一部地目変更を行い、分筆登記を実施している。

⑤【各課】安易かつ不適切な変更契約

工程管理で、発注者、受注者の協議を密にし、不用な変更などの防止を図っている。

⑥【学校教育課】工種適用区分変更のみの理由により、内容変更が伴わない請負金額の増額変更

工事などの設計積算に際しては、諸経費体系などの精査に努める。

⑦【総務課ほか】重要書類の分類、保存年限など、統一性のある文書管理態勢の未整備

文書の重要性を認識するとともに、保存年限については範囲の確認をしながら整理するよう努めている。

⑧【学校教育課】任命権者（教育委員会）の承認手続きを経ずに、学校長を兼務する幼稚園長への給与的性格の報償費を重複支給

学校長と幼稚園長との兼職について教育委員会で承認した。また、園長手当の支給に関し教育委員会にて承認した。

⑨【総務課】車両管理（使用記録簿作成、車両整備、洗車など）の不徹底

平成29年2月1日に埴町公用自動車等の管理運行に関する要綱改正（公用車運行記録簿を全車両に配置、使用者に車両状況等の点検）。



はなわ スポーツクラブ通信 1月号

はなわスポーツクラブでは、一人でも、仲間同士でも参加できる教室を開催しております。お気軽に見学にいらしてください。

第6回塙町長杯(第8回B&G塙海洋クラブ)カローリング大会 参加チーム募集

この大会は、はなわスポーツクラブのチームが福島県代表として全国大会に出場したことを記念して開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

日時 平成30年1月14日(日) 午前9時30分
場所 塙町営体育館アリーナ
参加費 無料(3人1組でお申し込みください。)
申込み先 はなわスポーツクラブ(0247-57-6589)



新春バドミントン大会 参加者募集

この大会は、バドミントン用具を、スポーツクラブで準備します。スポーツクラブ会員以外の方も参加できますので、皆さん、ぜひご参加ください。当日参加もOKです。

日時 平成30年1月25日(木) 午後7時
場所 塙町営体育館アリーナ
参加費 100円



出前講座、開催いたします!

はなわスポーツクラブでは、地区スポーツ少年団や交流会、学年行事などでも、出前講座を開催します。カローリング教室・スポーツ吹矢教室・ノルディックウォーキング教室・カヌー教室・グラウンドゴルフ教室をやってみたいなど、お気軽にご相談ください。

いますぐ検索!

はなわスポーツクラブ 検索

HP内ブログにて、日々の活動の様子をアップしています。

携帯電話からでもアクセスできます



NPO 法人はなわスポーツクラブ
http://hanawa-fsc.jp
塙町大字塙字桜木町 80 (塙町営体育館内)
☎ 0247-57-6589 FAX57-6587
mail:hanawa.fsc@gmail.com



図書館に手作り絵本『ふるりる』を寄贈いただきました

埼玉女子短期大学絵本寄贈
埼玉女子短期大学の皆さんから、塙町での研修をもとに自分たちで作った絵本『ふるりる』を寄贈いただきました。図書館では、貸し出しも行っていきますので、可愛らしい挿絵の絵本を、ぜひご覧ください。

1月のなかよしルーム参加者募集

1月は『ごへいもち作り』です。簡単に楽しく作れるおやつ『ごへいもち』をみんなで作りましょう。どんなおもちができるかな? みんなで一緒にごはんをコネコネつぶして、仲良く食べましょう!



日時: 1月19日(金) 午前10時から
場所: 塙町公民館 2階和室
費用: 1家族 300円(材料費)
持ち物: 飲み物・食器
申込み先: 塙町公民館 43-0320
申込期限: 1月17日(水)まで ※必ず事前にお申し込みください。
※12月29日~1月3日は、申し込みできません。



埼玉女子短期大学生による読み聞かせ

12月のなかよしルーム みんなでパーティをしよう!
12月15日(金)の『クリスマス会』みんなでパーティーをしよう!』には、9家族22人が参加し、福島県養護士の協力で保護者が調理したクリスマスチャウダー、タンドリチキン、イチゴのショートケーキを美味しくいただきました。
また、保護者の調理中には、乳幼児向けに埼玉女子短期大学の皆さんによる本の読み聞かせも行われました。



マナビィ はなわ

~塙町生涯学習だより~ 1月号
発行: 塙町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎ 43-2644

■塙町公民館

☎ 43-0320

第56回塙町文化祭閉幕

文化講演会 『さかなクンのギョギョッとビックリお魚講座』

第56回塙町文化祭は、11月26日(日)の文化講演会で、好評のうちにフィナーレを迎えました。期間中は、美術展や青年の主張大会、芸能祭など、盛りだくさんの内容に、多くの参加・聴講者がありました。
文化祭を締めくくるとなると、個人的なキャラクターで、大人から子どもにまで大人気のさかなクンを講師に迎え、『さかなクンのギョギョッとビックリお魚講座』と題して、ご講演いただきました。



得意の絵を描きながら、熱意あふれる動きと口調で講演を行うさかなクン

「さかなクーン!」の呼びかけに、ハコフグの帽子と白衣を身に付けて「ギョギョッと」と登場したさかなクン。詰めかけた400人の観客が大きな拍手で迎えました。
魚に興味を持ったさかなクンが、アクアマリン福島を訪れたことだったことや、得意の絵を描きながら、情熱的な動きと口調で講演を行いました。また、アユやイワナ、ヤマメに関するクイズに正解すると、観客に直筆の絵とCDがプレゼントされ、その講演内容に、観客は惹きつけられていました。
最後には「川や海と山はつながっている」と環境問題にも触れ「お風呂は冷ましてから流すこと。食べ物を大切に」と呼びかけ、講演を締めくくりました。

はなわ探検隊 クリスマスマスパーティー開催

県養士会講師からデザートと食事の関係を学ぶ

12月2日(土)、はなわ探検隊第7回活動「クリスマスパーティー」を、塙町公民館で開催しました。
今回の活動には、探検隊52人と高校生ボランティア22人が参加し、6つの班に分かれ、クリスマスにちなんだゲームやビンゴを楽しみ、大いに盛り上がりました。また、デザートと食事



おっきなイチゴだなー!



デコレーションを楽しむ隊員たち

の関係について、福島県養士会の三森美智子先生にご指導いただき、ケーキのデコレーションを楽しみました。
お昼は、高校生ボランティアと県養士会の方が作ったカレーと海藻サラダ、そして、デザートとケーキを合わせ、バランスのとれた食事をとることができました。

文化財防火デー 火災防訓練を実施します

塙町の文化財を火災などの災害から守るため、第64回文化財防火デーに伴う火災防訓練を実施します。

訓練実施日 1月21日(日) 午前9時から
訓練対象物 湯舟観音堂(山形字桜木下1334)
その他 湯舟観音堂周辺住民・関係者
当日は訓練に伴い、サイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。
生涯学習課(43) 2644



昨年の訓練の様子

Town Topics



全国社会福祉協議会長からの表彰を披露する宮田秀利会長（町長）と鈴木事務局長（右）

傾聴活動で県内唯一の受賞

— 埴町社会福祉協議会が社会福祉協議会優良活動表彰を受賞 —

11月22日（水）東京都で行われた「平成29年度全国社会福祉大会」の席上で、埴町社会福祉協議会が、福島県内では唯一となる「社会福祉協議会優良活動表彰」を受賞しました。高齢者を対象とした事業への功績が認められ、特に平成25年度にスタートした「傾聴ボランティア」の活動が高く評価されました。傾聴ボランティアは、現在も町民13人がボランティア登録し、2人1組でひとり暮らしの高齢者の話し相手になるなどの傾聴活動を行っています。

鮮やかな光が町を照らし出す

— 街なかイルミネーションが点灯 —

12月1日（金）人いきいき・街きらきら活性化実行委員会によるイルミネーション点灯式が、駅前のフォレストファイブで行われました。今年で9回目となった点灯式では、宮田秀利町長をはじめ、関係者の手によりスイッチが押され、街路樹に取り付けられたLED電球が一斉に点灯しました。このイルミネーションは、1月末まで点灯され、町の玄関口として光り輝き、町を訪れる人々を温かく迎えてくれます。



きれいなイルミネーションをぜひご覧ください

僕たちもこんなに重かったんだね

— 埴小学校3年生が「思春期ふれあい体験」 —

12月15日（金）赤ちゃんがお腹の中で大切に育てられることを知り、命を大切にすることを育てることを目的として、埴小学校3年生を対象に「思春期ふれあい体験」が行われました。授業では、赤ちゃんがどのように大きくなり、お母さんのお腹の中で約10カ月かけて育つことなどを学びました。また、妊婦さんの大変さを知るために、妊婦体験ジャケットを付け、その重さや動きづらさなどを体験しました。授業の最後には、お父さん、お母さんからの手紙で、両親からの思いを知るとともに、命の大切さや尊さを学ぶことができました。



妊婦さんって大変だね（妊婦体験ジャケットでその重さを実感）



かわいらしいトナカイさんの登場です（埴保育園）



悟空と一緒に妖怪退治（笹原幼稚園）



手話を交えて歌を歌いました（埴幼稚園）



アヒルになりきってかわいいダンス（埴保育園）

僕たち私たち頑張ったよ

— 埴・笹原幼稚園で「生活発表会」・埴保育園で「おゆうぎ会」 —

11月25日（土）に埴幼稚園・笹原幼稚園で「生活発表会」が、12月9日（土）に埴保育園で「おゆうぎ会」が行われました。園児たちは、かわいらしい衣装に身を包み、この日のために一生懸命練習してきた成果を存分に発揮していました。会場に駆け付けた保護者たちは、子どもたちの成長を感じるとともに、その素晴らしい発表や心のこもった歌声に、大きな拍手と歓声を送っていました。

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、総務課 ☎ 43-2111 までご連絡ください。



このコーナーでは、東京埼玉の皆さんの住む街のことや近況について紹介しています。

私の住む街Now

神永 和昭さん

埼玉県川越市在住（山形出身）

-Vol.34-

「蔵造りの街並み」「小江戸」「住みたい街」

美しい「蔵造りの街並み」で知られる川越は、年間705万人もの観光客が訪れる関東屈指の観光地です。また、2020年の東京オリンピックのゴルフ競技が、市内の「霞が関カンツリー倶楽部」で予定され、トランプ大統領が11月5日に安部総理とプレーし注目されました。

川越市の中心である川越駅は、東武東上線で池袋駅から北西方向に30kmで最速27分のところにあり、JR埼京線の終点でもあり、本川越駅は西武新宿線の終点でもあります。3路線が乗り入れ、都内に通勤するには大変便利な街です。川越駅東口を出てすぐ、全長1200mにもおよぶ巨大

な商店街「クレアモール」があり、デパート、アパレルショップや飲食店などがずらりと並び、その先に大正時代の石造りの建物が残る「大正浪漫通り」があります。

さらにその先が、江戸時代から商人の町として栄えた「蔵造りの街並み」として有名な「一番街」で、重厚な蔵造りの建物が数多く残る一角は、明治26年（1893年）に町の3分の1が焼ける大火があり、商人たちが耐火性に優れた土壁の蔵造り店舗を建てたものです。また、400年の歴史を持つ川越のシンボル「時の鐘」や徳川家康の参謀、天海和尚が住職を務めた創建1200年の喜多院、現存する川越城本丸御殿など観光名所となる歴史的建造物が多く点在し、まさに「小江戸」の風情があります。「川越」は、NHK朝の連続

ドラマ「つばさ」の舞台になるなど、テレビや雑誌でも頻繁に取り上げられています。

私は、昭和44年4月に上京しましたが、空はスモッグで覆われ、河川は濁り悪臭があり、阿武隈山地で育った私にはなじめない空気で、将来は空気のきれいな街に住みたいと思ったものでした。私が、川越市（棚倉町と姉妹都市）に住むことになったのは、大学1年の体育の授業が、緑多い川越校で行われていたこと、子どもを授かりマイホームを探していたときに、不動産業者に川越市内を案内され、これも縁と思い住み40年になりました。そして、高速道路も兄弟夫婦のいる実家まで、関越道川越ICから圏央道を通り、常磐道勿来ICまで帰省することができ、大変便利になりました。市の人口も23万人から35万人に増加し、リクルートの「住みたい街ランキング」も、埼玉県民からはベスト5にランキングされております。

皆さまの川越観光をご期待するとともに、塙町の繁栄ならびに東京埼玉の発展と皆さまのご健勝をご祈念いたします。

【今回は、神奈川県横浜市在住の宮崎 県さんです。】

随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

-Vol. 338-

わらしな あつし
藁科 充さん(台宿)

職 業：地方公務員
趣 味：折り紙
好きな言葉：猪突猛進



Warashina Atsushi

「日々は折紙」

人生を折り紙に例えると、今まさに人生という作品を織り込んでいる最中なのだと思う。こうして今、塙町に暮らしていることも必然であり、作品の完成に向けて、一つ一つの場面を毎日、折り刻み続けているのだろう。

震災後、復興に携わってきた私は、いつの頃からか、福島の方々のお役に立ちたいと考えるようになりました。そして、念願叶い塙町に移住して1年半が過ぎました。塙町での生活は、当初イメージしていたのんびりとした暮らしとは異なり、新鮮かつ刺激的で日々、さまざまなお事に挑戦させていただいております。家族もすっかり町に馴染み、充実した日々を過ごすことができ、この町の一員になれるのが良かったと実感しております。

ただ、皆さまのお役に立ちたい

想いで移住したにも関わらず、実際には周囲の方々にお世話になりっぱなしです。猪突猛進、短絡思考の私を、温かな眼差しで見守ってくださる素晴らしい仲間仲間、日々勉強させていただいております。そのような中で、気が付いたことがあります。それは、人生という作品は、自分一人で折るのではなく、家族をはじめ周囲の方々を合わせて、折って、組み合わせることで完成させていくということなんです。

私が持っている折り紙は、塙町のために、著名な折り紙作家が創作してくださいましたダリアです。48枚の折り紙を組み合わせて作られています。このダリアのような素晴らしい作品を、皆さまとともにこの町で咲かせてみたいと思います。ちなみに、折り方を知りたい方は、私に、ぜひお声がけください。

こんにちは赤ちゃん

11月16日から12月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住所
高橋 瑠花ちゃん	啓 太	志 歩	11/17	桜木町
戸井田清聖くん	拓 也	弥 生	11/22	台 宿
永山 大雅くん	誠	友香里	12/1	川 上
鈴木ひなたちゃん	雅 尚	利 枝	12/4	上石井

心温まる善意に感謝 (12月分)

- 塙町商工会女性部 様 (社会福祉協議会へ) 2万円
- 塙町婦人会 様 (社会福祉協議会へ) 1万円
- 塙町老人クラブ連合会 様 (町内各施設へ) 雑巾 892枚





はなわのつるし雛まつり

色鮮やかな「つるし飾り」の共演



■約3千人が来場

11月11日(土)から同26日(日)まで、塙町コミュニティプラザ、塙代官所跡、道の駅はなわで「はなわのつるし雛まつり(塙町観光協会・キルトメイトはなわ主催)」が開催され、約3千人が来場しました。

会場には、キルトメイトはなわの皆さんが、丹精込めて作った作品が展示され、色鮮やかなつるし雛をはじめ、雛人形やタペストリーが会場を華やかに彩りました。ダリちゃんバッジとオリジナルメモ帳がもらえるスタンプラリーも開催され、来場者は色とりどりのつるし飾りに見入っていました。



●休日の当番医

1月1日(月)	深谷クリニック ☎ 33-32223	1月8日(月)	木村医院 ☎ 46-3528
1月2日(火)	車田病院 ☎ 43-1019	1月14日(日)	あらまちクリニック ☎ 33-8018
1月3日(水)	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468	1月21日(日)	つちやクリニック ☎ 43-2250
1月7日(日)	塙厚生病院 ☎ 43-1145	1月28日(日)	金澤医院 ☎ 46-2312

●今月の納税等

国民健康保険税 7期
後期高齢者医療保険料 6期
納期限 1月31日(水)

◆口座振替日は1月25日(木)です。

●町の人口 9,018人(12月1日現在)

男性 4,444人(-3) 世帯数 3,301世帯(-3)
女性 4,574人(+2) ()内は前月比

※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

新春交歓会にお越しください

皆さまにとって、新年が幸多き年になることを願い、下記のとおり新春交歓会を開催します。申し込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

■日時：平成30年1月5日(金) 午後6時から

■場所：塙農村勤労福祉会館

■会費：2,000円

■その他：翌日(1月6日)は、消防団出初め式が行われるため、役場駐車場にそのまま駐車しておくことはできません。

編集後記

▼明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も取材などでお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願ひします。皆さまにとって、2018年が良い年となることを心よりご祈念申し上げます。▼毎年1月号に「青少年の主張大会」の最優秀作品を掲載させていただきました。6ページから8ページ。最優秀賞に選ばれた、加藤さん(小学生)の「いただきます」や遠藤さん(中学生)の「あいさつは人と人をつなぐ」、鈴木さん(高校生)の「みんなのために」を含め、今回も素晴らしい発表ばかりでした。大人になるといつの間にか忘れてしまっていることを、思い出させてくれる時間でした。皆さんも、ぜひご覧ください。(松)

発行・編集／塙町役場 〒963-1549
総務課 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地
印刷／佐藤印刷所 FAX(0247)431211
TEL(0247)431211